

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース											
ベーシックレッスン1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	柿崎光、MARI、青野りえ			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
歌を歌うためには体全体をつかって正しい発声を身に付け、喉だけに負担がかからないよう歌っていくことが必要である。「ファルセット」「ヘッドボイス」「チェストボイス」「ミックスボイス」などの発声法や、ヴォーカルテクニック、音域拡大を目指すトレーニング、表現力を増すトレーニング、リズム感を養うトレーニングを行い、歌うために必要な基礎を学ぶ。											
到達目標											
安定した声を身につけるために、まず自分の身体の使い方を知る。例えば声帯周りの筋肉を鍛える上でどういう理由があって鍛えているのかを理解するなど、各部分のトレーニングを行なっていく。また声にはさまざまな種類がありその声を実際に使用しているアーティストを知ること、ヴォーカルスタイルとしてはヴォーカルテクニックで学んだ各声の楽曲などを挙げながら分析し、自分のものとしてしっかりと表現しヴォーカリスト、表現者としての技能を体得することを到達目標にしている。											
授業方法											
学生個人が生まれながらにして持つ様々な声質を大事にしながらも、その声質のいい部分をさらに伸ばしていくグループ形式の授業である。他者の声を聞く事で自分とは何が違うのかを意識させ、より探究心を持ってボイストレーニングを学ぶことを目的とする。共鳴するポジションを各自身に付けた上で様々なトレーニングを行っていく。また、ボイストレーニングの一環で身体の強化、リズムトレーニング等も行う。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。教室使用後は使用した周辺の消毒清掃を各自行う。											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	スキルチェック(1) 一人ずつ歌い、各自ヴォイストレーニングでの課題を決めることができる。										
第2回	ウォーミングアップ、腹式呼吸の習得。ハミング、リップロール、表情筋を習得する。										
第3回	ウォーミングアップ、声帯の動きや構造を理解し、「チェストボイス」「ヘッドボイス」「ミックスボイス」が耳でわかる。										

2023年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース

ベーシックレッスン1

第4回	リズムトレーニング(1) メトロノームを使いトレーニングを行い、16ビートを習得する。
第5回	リズムトレーニング(2) 4ビート、8ビート、16ビートの違いを身体を使って習得する。
第6回	歌うために必要な声帯、声帯周りの筋肉の動かし方を学ぶ(1) 主にチェストボイスの発声を習得する。
第7回	歌うために必要な声帯、声帯周りの筋肉の動かし方を学ぶ(2) 主にヘッドボイスの発声を習得する。
第8回	共鳴、発音(1) 胸腔、口腔、鼻腔の共鳴させる位置の違いを理解し、発声に活かすことができる。
第9回	共鳴、発音(2) 母音と子音の意識の持ち方の違いを理解し、発声に活かすことができる。
第10回	音域拡大のメソッドを学ぶ(1) 長期的な声のトレーニング法がわかる。
第11回	音域拡大のメソッドを学ぶ(2) 長期的な声のトレーニング法がわかる。
第12回	ボイストレーニングにおけるスケール練習(1) 音程をしっかりと理解した上で、正しい音程をとることができる。
第13回	ボイストレーニングにおけるスケール練習(2) 1オクターブ半のスケールを使って各度数の間隔を感じながら歌うことができる。
第14回	復習(1) 前期のトレーニングを復習し、ここまでの成果を理解出来る。
第15回	期末試験

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース											
ベーシックレッスン1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	平山雅月・早川咲			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、ボイストレーナー				
授業概要											
基礎作りにより自分の声の特性を理解した上であらゆるジャンルと現場に適用できる実践力となるボーカリストを育成する。また現代のボーカリストはライブのみならず様々な発表の環境と録音環境に対応できる心構えを習得する。											
到達目標											
どんなジャンルでも歌いこなせるような音程のコントロール、ビブラートやしゃくり、フォールダウンなどの基礎的なテクニックの習得する。本番環境でも安定した歌を歌えるようなメンタルを養う。											
授業方法											
カラオケや講師のピアノ演奏を用いて課題曲を練習し必要となるテクニックや発声方法を身につけていく。											
成績評価方法											
14回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。教室使用後は使用した周辺の消毒清掃を各自行う。											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	課題曲「水平線」を使って、曲のアナライズをして目標を明確にする。										
第2回	課題曲「水平線」を使って、歌うために必要な呼吸の説明(腹式呼吸、ブレスの位置の確認)										
第3回	課題曲「水平線」を使って、地声と裏声の切り替えを学ぶ。										

2023年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース

ベーシックレッスン1

第4回	課題曲「惑う糸」を使って、リズムトレーニングをする。（表拍と裏拍）
第5回	課題曲「惑う糸」を使って、自分の音域を確認し音域を広げるトレーニング（ヘッドヴォイス）
第6回	課題曲「惑う糸」を使って、ロングトーンを安定させるトレーニング
第7回	ワンフレーズチェックテスト（地声～裏声、ロングトーン）
第8回	課題曲「Sunday Morning」を使って、英語の発音を学ぶ。
第9回	課題曲「Sunday Morning」を使って、ビブラートのトレーニングを学ぶ。
第10回	課題曲「Sunday Morning」を使って、抑揚の付け方を学ぶ。（ダイナミクスをつける）
第11回	課題曲「Sunday Morning」を使って、裏声を出す（ファルセットとミックスボイスの違いなど）
第12回	選曲して課題曲を使って、パフォーマンスを学ぶ。
第13回	選曲した課題曲を講師が演奏するピアノ伴奏に合わせて歌唱する。
第14回	授業内発表
第15回	前期のまとめ

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース											
ベーシックレッスン1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	平山雅月			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
<p>スタンダードな楽曲で3度5度の基礎のコーラスをメインにコーラスワークとはどう言った理論で出来上がっているかを理解する。譜面を解説しながらソプラノ、アルト、テナーベースの4パートに分かれて楽曲をその場で耳で覚えて歌いあげ楽曲を作り上げる。その場でパートを覚える事で個々の耳を鍛える事が出来るものである。それはヴォーカリストとして今後様々な分野で活躍出来る対応能力も一緒に身につける事が出来るものである。</p>											
到達目標											
<p>音楽活動する上で必ず必要なメロディーから1度、3度、5度でのハモリの音感を身につけ他パートの音につられる事が無い様に歌う事を到達目標とする。</p>											
授業方法											
<p>各パートに分かれた譜面を生徒に配り各パート毎に講師が伴奏しながら模範歌唱を行い抑揚含めて覚えていく。譜面の音符の長さや休符などを意識させ必要性を知る。同パートの声を聞きながら歌う事で他のパートに吊られない音感を身につけていく。その上で個々の声の特徴や個々の目標に達する様なパートを選びながら1つのパートだけではなく様々なパートに移動しながら行う。</p>											
成績評価方法											
<p>14回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)</p>											
履修上の注意											
<p>この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。教室使用後は使用した周辺の消毒清掃を各自行う。</p>											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	譜面を配り楽譜の読み方を学ぶ。										
第2回	音符や休符の種類を学ぶ。										
第3回	パート分けを行い、音を耳で覚えていく。										

ベーシックレッスン1

第4回	リズムに気をつけて歌う。
第5回	各パートで分かれて音を確かめ合う。
第6回	各パート毎に歌唱し発表する。
第7回	数チーム作り分かれて練習する。
第8回	リズム、ダイナミクスをチーム毎で意見出し合い決める。
第9回	各チームで歌唱発表する。
第10回	細かいシンコペーションやタイなのか休符なのか意識させて歌う。
第11回	各チームで分かれて曲に対してのアナライズをさせ、それを踏まえて細かいところまで意識させてチーム練習。
第12回	パフォーマンスを学ぶ。
第13回	リズム、ダイナミクス、パフォーマンス全体の確認。
第14回	授業内発表
第15回	前期のまとめ

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース											
ベーシックレッスン1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	平山雅月			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
バンドアンサンブルでの合唱歌唱。生演奏で合唱することで、より安定した声量で歌えるよう喉を鍛えリズム感を学ぶものである。											
到達目標											
個々が好き勝手に歌う事ではなく個性を抑えつつ他者と協力し合いながら共に一つの楽曲を作り上げる事である。その上でダイナミクスや声質、ウィスパーヴォイスや発音等の声質を考え、プレイヤーと作り上げ、課題曲を授業内で披露する事を到達目標とする。											
授業方法											
課題曲を通して創造力を養いつつ意見交換をしながらバンドアンサンブルならではの楽曲を完成させる。											
成績評価方法											
14回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。教室使用後は使用した周辺の消毒清掃を各自行う。											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	演奏楽器機材の特徴を学ぶ										
第2回	バンドアンサンブルで歌う。(各パート音をしっかり確認する)										
第3回	バンドアンサンブルで歌う。(前奏、間奏、アウトロー等構想をしっかりと覚える)										

2023年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース

ベーシックレッスン1

第4回	バンドアンサンブルで歌う。(ダイナミクスを意識)
第5回	バンドアンサンブルで歌う。(スタッカート、タイ、リズムキープ)
第6回	バンドアンサンブルで歌う。(パフォーマンス)
第7回	バンドアンサンブルで歌う。(各パート音をしっかり確認する)
第8回	バンドアンサンブルで歌う。(前奏、間奏、アウトロー等構想をしっかり覚える)
第9回	バンドアンサンブルで歌う。(ダイナミクスを意識)
第10回	バンドアンサンブルで歌う。(スタッカート、タイ、リズムキープ)
第11回	バンドアンサンブルで歌う。(パフォーマンス)
第12回	バンドアンサンブルで歌う(16分のリズムトレーニング)
第13回	バンドアンサンブルで歌う。(リハーサル)
第14回	授業内発表
第15回	前期のまとめ